



錦町議会だより

# トビ



2017. NO  
**119**



**2017年への飛躍**  
(球磨一周駅伝大会 5 連覇達成)

● 定例会	2
● 常任委員会研修報告	3～4
● 9人が一般質問	5～13
● 2017年を迎えて	14～19
● 議会へ一言・議会のうごき	20
● 軌跡	20



# 水道料金の上げを承認

平成28年第4回定例会は、12月13日から16日までの4日間の日程で行われ、平成28年度各会計補正予算5件、条例改正等6件、人事案件2件が上程され、いずれも原案のとおり可決し、議員発議で提出された地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書1件についても原案のとおり可決した。

また、「鉄道の安全・安定の輸送及び地域を支える鉄道の発展」を求める意見書の提出を求める請願については、総務建設常任委員会（柳瀬みどり委員長）に付託したが、継続審議となった。

なお、今回の一般質問には9人が登壇し、執行部の考えを質した。

## 条例改正等

### ① 錦町税条例の一部を改正する条例

地方税法、所得税法等の改正により、所要な改正を行うもの（医療費控除の特例など）

### ② 錦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

所得税法等の改正により、所要な改正を行うもの

### ③ 錦町水道事業の設置等に関する条例

### ④ 錦町特別会計条例の一部を改正する条例

### ⑤ 錦町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例

### ⑥ 錦町給水条例の一部を改正する条例

水道事業の統合に伴うもの（平

成29年4月）

## 人事案件

### 錦町教育委員会委員の

### 任命について

住所 錦町大字西

3585番地17

氏名 福山 大介

住所 錦町大字西

1065番地3

氏名 穂積 景子

## 簡易水道から 上水道事業へ移行

国の簡易水道事業補助制度の見直しにより、平成29年4月から町の簡易水道（西・一武・木上

地区）事業を統合して、地方公営企業法を適用することになった。

## 上水道事業の 経営の原則

### ○経営の基本原則

・経営にあたっては、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

### ○受益者負担の原則

・水道事業は、加入者からの水道料金収入によって、経営に必要な経費を賄う、独立採算制を基本として経営しなければならない。

### ○経費負担の原則

・企業運営に要する費用のうち、その性質上企業経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費は、一般会計からの負担金で賄う。

### ○水道料金の決定原則

・水道料金は、公正妥当なもの

でなければならず、かつ、能率的な経営の下における適正な原価を基礎とし、地方公営企業の健全な運営を確保することができらるものでなければならない。

## 「豆辞典」

**地方公営企業** 地方公共団体が経営する企業のうち、地方公営企業法を適用する事業で、水道事業（簡易水道事業を除く）、工用水道事業、軌道事業、自動車運送事業、地方鉄道事業、電気事業、ガス事業、病院事業がある。

## 第5回臨時会

平成28年10月6日に行われ、平成28年度一般会計補正予算1件と庁舎非常用電源導入工事請負契約について上程され、原案のとおり可決した。契約の相手方は、日建電設株式会社で契約金額は7,560万円。

# 常任委員会研修報告

## 総務建設常任委員会

### 1 研修参加者

委員長 柳瀬みどり  
副委員長 池田 秀晴  
委員 土肥 俊一  
委員 久保田文男  
委員 市田 昇  
委員 右田 宣之

### 2 研修期日

平成28年11月7日(月)・8日(火)

### 3 研修先及び研修事項

#### ① 上峰町ふるさと納税について研修

上峰町は佐賀県の東部の三養基郡に位置する。ポータルサイトには錦町も使用している「ふるさとチョイス」を使用しており、27年度は20億円の寄付があった。特にパンフレット製作に力を入れ、

少しでも上峰町と関わるものを商品の対象としており、特に佐賀牛が人気とのことであった。本町は町独自の特産品を主としている。「ふるさとチョイス」や「ANA」サイトを引き続き継続し、広報活動を維持しながら、寄付者の増加に繋げたいものと期待する。

#### ② 福岡県朝倉郡筑前町立大刀洗平和記念館

昭和20年3月27・31日米軍の大空襲で数多くの尊い命とともに巨大な航空基地も壊滅した。戦時中は特攻基地として多くの若き特攻隊員の出撃を見送った。戦後70年を経過し、戦争という痛ましい事実を風化させないよう、小中高生の社会見学や修学旅行での平和教育に提供してい

る。本町では、これから施設の整備計画に入ろうとしていることから、戦争という自由のきかない苦しさや悲惨さを1日でも早く後世に残す努力をなすべきと考える。

#### ③ 嬉野市空屋等対策について

嬉野市は佐賀県の南部に位置している。歓迎の挨拶の中で話を交えた挨拶があり、大変感動した。また、丸目蔵人との縁もあるようで、タイ捨流の兵法が伝わっているのではという話しもできました。研修課題の空屋対策等は、人口減少、少子高齢化の問題も山積し消滅可能都市に入っているとのことと、あくまで個人の財産であることから、行政の行動も限界があるのとことだった。本町としても、地域

の住民の理解と協力を最大限に活かしていくのが、一番の解決策ではないだろうか。



大刀洗平和記念館での研修

# 厚生文教経済常任委員会

## 1 研修参加者

委員長 荒川 孝一  
副委員長 藤川 喜一  
委員 高田 孝徳  
委員 守永慶次郎  
委員 金山 民幸  
委員 岡田 武志

## 2 研修期日

平成28年10月26日(水)・27日(木)

## 3 研修先及び研修事項

①熊本県合志市 合志市社会福祉協議会「安心生活サポート事業について」

合志市保健センターは全国でも珍しい複合型の総合福祉センターであり、センター事業は「高齢者・障がい者福祉センター」「地域福祉センター」「住宅介護支援センター」「こども支援センター」「保健センター」の5部門で構成され、子どもから高齢者まで全ての市民が利用できるようになって

いる。「住みよいランキング調査」熊本県第一の市である。今回研修目的である「安心生活(ぼっかぼっか)サポート」とは、「利用会員」

「協力会員」の仲介を社会福祉協議会が行い、日常生活でのちよつとした困りごと、例えば、ごみステーションへのごみ出し、外出時の付き添い等多岐にわたるサポートを低価格チケットで展開する事業である。平成24年にスタートした当事業の活動状況は634件から3年後の平成27年度には、約7倍の4,937件と広く住民に認知され利用されている。本町においても、独居高齢者等の行動サポートとして「民間による民間の」体制形成が必要であろう。

②熊本県合志市 合志市社会福祉協議会「送迎サポート事業について」

認知症予防事業等の中で、社協が所有する車を使用して送迎してもらうサポーターを養成して運転を通じたボランティア事業

で、普通免許取得者で75歳までの方の養成講座がある。本町で実施している乗合タクシー事業との調整も含め同事業についての調査検討が必要と思われる。

③佐賀県伊万里市 伊万里市民図書館「読書活動推進への取り組みについて」

「伊万里をつくり 市民とともにそだつ 市民の図書館」をスローガンに平成7年、市民の意見を取り入れ「市立」から「市民」へ滞在型図書館として改館した。46万冊の蔵書があり、主な取り組みとしてハード面では市民ホール・福祉食堂(障がい者就労業者に運営委託)・移動図書館・随所に憩いのスペースを設け、またソフト面では図書司書12名のアイデアを基に企画展示や、また、「図書館フレンズ伊万里(図書館支援市民団体)」と協同で本のリサイクル・イベントを展開していた。

特筆すべきは「すべての人の成長(自立・自律)と成熟、自己

実現を支える教育施設こそ図書館↓図書館はひとつづくり、まちづくりを支える成長する施設」を理念に伊万里市行政が旗を振っていることであろう。本町においても読書量日本一をスローガンに挙げている、読書とは何なのか、原点に返り町民とともに答えを出していく時期に来ているのではないか。また、読書のみでの推進ではなく、図書館を「生涯学習の場」として活用したり、町民文化の向上の場として施設の充実を検討すべきと感じた。



伊万里市民図書館での研修

## 一般質問

# 町政のことが聞きたい

9人が登壇  
(要約掲載)

## 犬によるサルの追い払いを

**金山** 27年度の鳥獣による農林産物被害状況と被害防止対策の実績は。

**農林振興課** 被害額が約130万円、対策としてイノシシ等の捕獲補助に約430万円、外に侵入防止の電気柵等の設置補助をしている。

**金山** 被害対策実施隊員の確保と今後の新たな被害防止対策は。

**農林振興課** 職員を除き26名で、今後免許取得者7名へ協力をお願いする。新たな対策として、郡市

では高い方ではあるが捕獲補助金の見直しや金網柵等の設置を考えている。

**金山** 捕獲補助金の郡市統一はできないか。

**農林振興課** 市町村の事情で難しい。

**金山** 犬によるサルの追い払いを実施している自治体があるが、取り入れてはどうか。

**町長** 先進地事例から、効果が薄い反面、嫉や噛みつき事故の対応上、本町では実施隊員の増員を図り追い払う方法がベストと考えている。

## 観光振興は

### 先ず道路等の整備を

**金山** 八代港へ大型クルーズ船が年間60隻、1隻当たり5千人が寄港

するとということだが、郡市観光への波及効果をどのように考えているか。

**企画観光課** 滞在時間の限定や受入施設等から、直接的な効果は限られているが、人吉球磨のPRには効果があつていると考えている。

**金山** 人吉球磨には貴重な文化遺産があるが、大型バスに対応する道路等の整備が先ず必要と考える。次に、本町観光客対応として航空隊跡地の道路整備計画はあるが、他の観光資源関係の道路等の整備も必要と思うが。

**企画観光課** 地方創生事業で観光振興を重点事業としているので、文化財保護や観光客の動向と費用対効果の観点から検討する。

## ゴルフ利用税交付金の確保について

**金山** 町の貴重な財源であるゴルフ利用性交付金のこれまでの最大交付額は。

**総務課** 最高交付額は平成3年度の約4千5百万円で、27年度は約



効果が期待される犬活用

1千万円に減少している。

**金山** 国ではゴルフ利用税の廃止が議論されているが、今後の見通しは。

**総務課** 29年度廃止は見送られた。

**金山** 今後も税の存続について、陳情等を行う必要があると思うが。

**町長** 廃止の議論は今後も続くが、税の堅持については強く活動していく。

**金山** 利用者増を図り交付金の確保のために、新たにシニアゴルフ大会の創設は。

**企画観光課** 実行委員会に諮る。

金山 民幸 議員

# 日本遺産指定（木本神宮など） 文化財周辺の整備と活用策は



藤川 喜一 議員

調査の今後検討していきたい。

**藤川** 周辺地域は「熊本歴町50選」にも指定を受けている。木上地区にある観光資源、木本神宮、人吉海軍航空隊跡、ツクシイバラの自生地を結んだ観光ルートの開発について検討してはどうか。

**藤川** 熊本県で初めて「相良七〇〇年の保守と進取の文化」が文化庁の日本遺産の指定を受けた。その日本遺産のストーリーを構成する文化財として木上地区岩城にある木本神宮が錦町で唯一指定された。眺望が良い高台にあり、最近の「歴史ブーム」もあって、新たな観光資源として期待できる。周辺の整備と活用について見解を伺いたい。

**教育振興課** 貴重な文化財であるとして認識している。周辺の整備については、駐車場の確保、トイレ、休憩所の設置など観光客の状況

**企画観光課** 「地方創生に係る事業」において、本町における観光資源の再評価を進めている。指摘の木上地区の観光資源は大変魅力あるものと考えている。本年度事業の中で「モニターツアー」を計画しており、実施後観光ルートの開発に活かしていきたい。

**藤川** 町長は観光協会の会長でもある。日本遺産を活用した観光に対する考え方や構想は。

**町長** 人吉球磨が一体で足並みを揃えて取り組むことが重要。「日本遺産人吉球磨活用協議会」を

用して、人吉球磨が一つになった方策をめざして協議を進めていきたい。



日本遺産指定の木本神宮

ごとの建替え、改善・修繕等の活用方法を定めている。長期計画では滝の水住宅は「建て替え」としているが、当分の間は「修繕対応」を考えている。

**藤川** 公営住宅法では健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備するよう自治体に義務づけており条例もある。雨漏れもなかなか修繕してくれないとの相談もあった。条例にほど遠い対応ではないか。条例に定められている水洗化も進んでいない。

**地域整備課** 雨漏れについては予算化した。水洗化については「長寿命化計画」に沿って順次やっていく。

**藤川** 快適な住環境を整備するのは町の義務である。更なる努力を切望する。

## 老朽化している 町営住宅の改修計画は

**藤川** 滝の水住宅は築40年以上経過し老朽化。雨漏れなど傷みがひどいが改修計画はあるか。

**地域整備課** 平成23年度に「町営住宅長寿命化計画」を策定。住宅

# 小中高生の通学路の

## 安全確保はどうか？

**岡田** 一武小周辺の県道整備に伴う安全確保をどう考える。

**教育振興課** 一武小周辺では、県道整備が進められており、一部未整備区間があり供用開始がなされていない。

子供達には、集団登校や歩道の利用を徹底させるなど指導を強化し、町道の改良に当たっては、歩道の設置や交差点のカラー舗装化を行っていきたいと考えている。

**岡田** 一武小周辺には九州武蔵、ルネサンス九州、常楽酒造、JA球磨本所などがあり、県道が開通すれば、交通事情の変化が予想されるが。



岡田 武志 議員

**地域整備課** 狩政線については九州

武蔵の100m先からの工事になる。現在測量設計を行っており、車道、歩道をつけて南部農免道路までの改良を計画している。

**岡田** 早期着工を望む。又、西小正門前の道路整備の進捗状況はどうなっているか。

**地域整備課** 町道松里線から西小入口、延長53メートルにかかる倉庫2棟、車庫1棟の補償費を補正で計上し、工事については、平成29年度に予算を計上し実施したい。

**岡田** 29年度に実施するということか。

**地域整備課** 29年度完了という計画。

**岡田** 一武駅から国道までの防犯灯が少なく、通学時の安全確保が必要ではないか。

**総務課** 質問の区間については、10区

が関係しているので、地元の区長と協議をしたい。

## 「錦町図書館」の現状について

**岡田** 今、町の図書館の蔵書数は、1万9千冊、月に100冊以上の新書を購入されているが、展示スペースに限界があり、職員も頑張っているが、手狭感がある。町長の

考える読書量日本一は実行できるのか。

**町長** 今後いろんな対策をとり、皆さんに読んでいただけるよう考えていきたい。質問議員におかれましても何かアイデア等があったらよろしくお願いしたい。

**岡田** 現在の開館時間、施設の利用のあり方を検討する必要があると思う。将来的には図書館の機能を持つ文化施設が必要では

ないか。

**町長** 設備を投資することによって、次の世代の負担が出てくる。一生懸命費用対効果を含めながら今後検討したい。

※このほかWCS（飼料稲）の現状と対策について質問した。



より広い設備が望まれる錦町図書館

# 道路インフラエッセ



高田 孝徳 議員

## 錦大橋歩道橋架設 工事について

を願う。

次に県道錦湯前線の工事の遅れは一武小グラウンドの南側の林野庁熊本南部森林管理錦森林事務所の移転交渉が長引いているためなのか。

**地域整備課** その通りである。

**高田** その後の移転交渉は。

**地域整備課** 県の土木部用地課の担当課長に尋ねたところ。先方の了解をいただいて、平成29年度移転交渉は進んでいくような話であった。

**高田** この道路整備についても、その地域の住民の方にとっては、直接日常生活に大きな影響を及ぼすような工事であり、着手から8年もかかった工事であるため、この県道が一日も早く完工することを要望しておく。

**高田** 県営錦南部道路は、平成8年に着工し、平成29年度完成の予定だったが、現在の進捗状況は。  
**農林振興課** 当初その予定だったが、用地取得の関係で現在のところ来年度に計画変更を行い、工期を3年間延長し、32年度完成となっている。  
**高田** 本当に32年度に完成できるのか。  
**農林振興課** 事業主体の県に尋ねたところ32年度完成という見通しなので、その通りだと考えている。  
**高田** 財政面、用地交渉等諸問題もあるが、予定通り完成すること

**高田** 橋台河川内土木工事、橋梁上部も繰り返し工事として発注しているなど、工事全体は順調に進捗していると理解してよいのか。何か問題はないのか。  
**地域整備課** 河川内土木は、年内工事はほぼ完了したと報告を受けている。上部工は工場製品で、工場で作成している。この製品物も遅れることはないと思っている。ただ、橋台部分で、既設の工法と違う部分が出てきたが、年度内の工事完了をするように、九州整備局と協議をしながら、今後進めていきたいと思う。  
**高田** 天候等いろいろな問題も出てくると考えられるが、予定通りか。  
**地域整備課** 平成30年の9月頃の完工予定だったが、できれば30年3月、29年度では事業の完了を目指し努力していきたい。  
**高田** このような大規模な工事は、



工事が進む錦大橋

住民の方は理解できない部分も多いためか、「現場を見ても何もしやらんぞ。」とかよく聞くが、もっと特に関係住民の方にはくわしく説明すべきでは。  
**町長** 今後、分館の総会等があるときに担当にくわしく説明させていく。又、予算がつかなければどうしようもないので、今後、予算の獲得のために死に物狂いでやっていくつもりだ。



# 老いても安心して暮らせる 町づくりをしよう

**池田** 高齢者や単身世帯の緊急時の連絡体制において、身体障がい者には、緊急通信通報システム装置はあるが、健常者にはなぜないのか。

**健康保険課** 要綱第3条利用対象者で概ね65以上のひとり暮らし老人と定めている。

**池田** 緊急時の連絡体制のマニュアルについて、郡内のある地域では、命のリレーという目的で、家族や親戚に連絡がとれるようになっていっていると聞いているが、本町の体制は。



池田 秀晴 議員

**健康保険課** 災害時の要援護者の台帳、対象者の氏名、情報伝達者、家族連絡先、病歴、かかりつけ医など記載して整備し、職員による安否確認、自主防災組織や民生委員及びシルバーヘルパーの見守り対応でお願いしたいと考えている。

**池田** 単身世帯や老々介護者に対する支援対策について、山江村では、要介護3以上の方で、在宅介護者に対し、月額1万円の在宅介護手当を支給されているようだが本町では。

**健康保険課** 本町では、要介護4以上の在宅要介護者がおられる住民税非課税の世帯に対して、1年9万円を上限として紙おむつ代金の助成を行っているが、今後取り組みができるようであれば、検討する余地として担当と話をしている。

**池田** ひとり暮らしの身寄りの無い高齢者の方が亡くなられた時の告別式の捉え方について、本町の考えは。

**町長** 身寄りのない方については、町費でしていく必要があると思っている。

## 空き屋等対策について

**池田** 個人の財産を処理する対策及び空き屋等対策計画の目的の中で空き屋等に発生する問題の対応策は。

**企画観光課** 空き屋等対策としては、空き屋自体の発生を予防抑制することと考えている。実際に空き屋となった場合には、空き屋の売却や賃貸化など、流通による活用促進も対策の一つであり、相談体制を整備し、民間の関係事業者や関係部署と連携し、所有者への働きかけが重要だ。

**池田** 計画の基本方針で、「1. 空き屋等にしない、予防の促進。2. 空き屋等地域の資源と捉えた活用

促進。3. 危険な空き屋等に対応する安心、安全の確保。」地域、事業者、行政等が連携して取り組むことは。

**町長** どの自治体においても、空き屋等問題は関心が多く、行政としても重大な件だと思う。そのことから、周りの環境を保つシステムというのを、区長や住民の方にお願いをすると感じている。



対策が望まれる空き家

# スーパー公務員の養成は



守永 慶次郎 議員

開講、コンピュータを活用したeラーニング講座等地方にいなながら実践的な知識を得られる。職員レベルアップに活用していく。

**総務課** 職員のスキルアップに各種の研修を実施している。

一つは全職員を対象に基本的な知識、技能の習得研修、二つ目は各職務階級や担当業務に必要なとされる知識を習得する為の研修機関への派遣研修等である。

**守永** 知的財産である町職員のスキルアップはどうしているのか。

**町長** 大型S.C、病院、コンビニ等ハード的な生活環境の充実は進んできている。これに枝葉をつけて実をならせるにはソフト面での人づくりだ。その一つに町職員のスキルを高める必要がある。秀でた職員一人をつくるより職員全体の資質を上げることが今の時代には必要だ。

**企画観光課** 国も職員のスキルアップに取り組みを強化してきた。地方創生版三本の矢の一つに人材支援がある。地方創生カレッジの

未来塾に派遣し農政のプロをつくられたい。

**町長** その未来塾の募集は本町にもきている。自分で手を挙げて自分で行くというやる気がある職員ならば応募させたい。

## 地域のリーダーとなる人づくりは

**守永** 地域のコミュニティを活性化させるには区長の手腕にかかると区長の立場より分館長の役割が今求められているのでは。ほとんどの地域で輪番制で仕方なく受けられている現状だ。本町の高齢者にはリーダーにふさわしい有能な人材が多く見受けられる。やる気がある人材を発掘すべきと思うが。

**町長** 26の区の区長選任で自分から手を挙げられる方はいない。仕方なくという方が大半だ。区長制をやめて分館長制にし皆でやって下さいとしてもコミュニティにつながるか不安だ。今の世相では難しいと思う。

**守永** 全国町村会が町村役場の農政担当者を対象に地域農政対策塾を開設している。職員の中にも農学士がいる。そういう人を是非こ



コミュニティ 力で伝統芸能の継承 福島虎踊り

# 人吉市・球磨郡

## 介護認定審査会の統合は

**右田** 現在、人吉市と球磨郡には、介護認定審査会がそれぞれ存在し、認定において温度差があるのではと町民からの声も耳にするが、認定基準は全国統一か。

**健康保険課** 本人もしくは家族の方から介護申請があった後、認定調査員が全国共通の要介護認定調査平準化チェックシートを活用し、全国共通のシステムにより一次判定、その後、主治医の意見書と合わせ、審査会のメンバーの合議体による判定で二次判定をしているのが現状。

**右田** 審査会が二つあることで反



右田 宣之 議員

論もできる。常々行政間で人吉、球磨は一つと言われる中で、審査会は何故統合できないのか。

**健康保険課** 現在球磨郡審査会の事務局であるあさぎり町より、統合の件について人吉市に打診はしている。今後人吉市の意向及び両医師会の調整ができれば、統合は可能と考える。

**町長** 統合の件については、現在町村会長でもあるので、今後、人吉市それに医師会にも打診をしたい。

## 乗合いタクシーの 利便性を図って

**右田** 高齢者ドライバーの事故が多発している昨今。かといって、免許証を返納すると交通手段は閉ざされ死活問題である。そこで、町が実施している乗合いタクシーの利用を更に充実させることはで

曜日	路線	到着予定	発着予定	運行地域
火曜日	中原昭和線	9:25/13:00	11:22/15:40	中原・横山・本別府・中島・山仁田・宋・別府・袴政・切原・堀和
木曜日	黒辺田野大館線	9:25/11:52	11:37/15:06	黒辺田野・福山・永野・大館
土曜日	大正指杉線	9:50/11:56	11:34/15:08	大正・木津・今山・指杉
月曜日	一九大王三条線	9:50/11:56	11:39/15:06	一九・京の峰・西原通り・下瀬・中瀬・大玉・三条・内門・久保
火曜日	平岩十日市線	9:31/12:24	12:12/15:41	平岩・櫛ヶ丘・新立・白坂・由羅木・十日市・山下
水曜日	村松岩城線	9:28/12:39	12:12/15:49	村松・野原・溝の水・岩城・馬場・寛井
土曜日	高原荒田線	9:31/12:39	12:08/15:33	高原・平川・目野・荒田
月曜日	平野福島線	9:36/13:13	11:16/16:32	平野・平良・福島・一武原通り・小川・内村
水曜日	平野福島線	9:24/13:00	11:53/15:48	東方・浜川上・下平岩・土屋・寛井
金曜日	東方寛井線	9:24/13:00	11:53/15:48	

\*予約しないと乗車できませんのでご注意ください。  
ご予約は 38-1070 錦中央タクシー

さらに停留所の増設を

きないか。

**総務課** 乗合いタクシーについては、検討プロジェクトチームからの提言や70歳以上の方等対象としたアンケート調査結果を踏まえ、停留所の増設や路線見直し作業等を行い、運輸支局に案を提示し、制度上の協議の後、検討委員会に回る予定である。

**右田** 利用料金、現在300円であるが、これを減額する考えはないか。

**総務課** 他町村の利用料金と比較し本町は高いので、減額に向けた検討を考えている。

## 小学校クラブ活動の社会 体育移行に問題はないか

**右田** 平成31年4月1日から小学校クラブ活動が社会体育に移行することに保護者の一部ではあるが、出費が絡むのではと不安がられているが。

**教育長** 現在既に12市町村が社会体育に移行しており、本町と同じような方向で検討しているのが、2市4町1村である。移行について出費の件など課題であるのも事実であるが、今後情報をしっかりと収集しながら、本町の検討委員会等を通じて十分協議を行い、平成31年4月1日には円滑に移行できるように進めていきたい。

# 通学路の安全確保にも

## 予算が必要



土肥 俊一 議員

**土肥** 児童の安心安全な通学路の整備が求められ、木上小校区でも

人吉水上線の歩道、各通学路におけるグリーンベルトや防犯灯が計画的に設置されている。そんな中、球磨大橋から木上コミセンに至る県道改良工事が計画され、地元説明後測量も終わり図面もできているのに何の進展もない。事業主体の県と錦町との協議はどうなっているのか。

**地域整備課** 平成22年9月に道路改良、歩道設置等交差点改良を単県要望事項として行っている。そ

の後地域住民への周知をし、測量を行い図面もできているが、錦大橋架け替え工事が始まり、工事の同時施工となると本町中心部の道路通行に支障を来すことから、錦大橋を優先して進めている。平成30年3月の完了を予定しているので、今後、県と協議を行い進めていきたい。

**土肥** 錦大橋架け替え優先、これは理解できるが、この道路は大型トラックやダンブカーがよく通る。グリーンベルトの設置はあるが、部分的に非常に狭くて危ない道路だ。工事を進めるには、地元の理解、特に用地交渉等の問題もある。予算確保を含め県との協議について町長の見解と合わせて陳情、要望の状況も伺いたい。

**町長** 県との協議、要望は道路や河川等いっぱいある。国道との交

差点改良、河川の土砂搬出や暗渠の排水等を具体的に要望している。質問の通学路も課長答弁にあるように最優先道路として、今後、県と協議しながら地元の理解を得ながら進めたい。上京陳情、要望の件だが、全体的に交付金の措置率が下がっている中、過疎債がない本町にとって予算獲得は大変厳しいものがある。代表6自治体の中に入って自民党政務調査会の谷公一副代表に直接陳情して来た。中でも過疎法にもれた福岡県の糸田町は、人口6千人の炭鉱の町で、人口が減らなかつたと言うだけで指定外、財政力指数も0.15しかない。本町より悪い状況、矛盾している。本町も人吉球磨の中で指定外、このような切実な状況を訴えてきた。ゴルフ利用税は

全国800自治体の陳情でなんとか阻止できたが、過疎の問題は38団体と少数。だからこそ陳情に行く先もポイントを探りながら地元議員だけでなく大事な議員のところへ出向くことも必要。総務省では事務次官にまで会って次の過疎法の大きな見直しを陳情要望してきたところだ。



早急な整備が望まれる通学路

# 給食費の無償化考察として

**荒川** 子育て支援策の一つとして、18歳以下の子どもが3人以上いる世帯を対象に、第3子以降の小中学生の学校給食費を減免、或いは無償に来年度からでも実施できないか。

**町長** 過去にも議員から提言があり、検討を続けているが29年度の地方交付税そのものが1億円程度落ちることが予測され、又、歳出に関しては県民体育祭も開催され色々整備をしなければならぬ。29年度予算がある程度めどがつけば一部分であるが多子世帯に対し

て補助することができる。

**荒川** まず入金を見極めて出すお金をしっかりと管理していく、当然のことだが、それを言われると私どもは何も言えなくなる。全員給食費無償とは言わない。多子世帯等3子以降を対象に検討を要望したい。

## 錦産給食。これ大事

**荒川** 平成28年野菜等農産物の高騰が続く、全国で給食の休止、食材の変更など話題になった。あえてこの時世に提言したい。地産地消、地場産業育成の観点から「錦産給食の日を」と過去に提言し、錦産カレーを実施されているようだが、引き続き多少市場価格より高くとも地場農産物を

利用すべきではないか。

**教育振興課** 給食食材の地産地消については、日ごろからできるだけ地元産の食材を利用するよう心掛けています。又、本年度の野菜高騰時については、メニューを工夫したりしている。

**荒川** 予算内でやり繰りをしなければならぬのは理解している。ただ別枠の予算を設けてでも錦産を買い取るための枠を設けてもいいのではないか。

**町長** 地場産と言ってもある程度限られている。別予算枠については確かに検討する必要もある。

## センターの耐震化は

**荒川** 本町の新防災計画書の中には、被災後の炊き出し等の環境に給食センターの記述はなかった。センターの耐震化は大丈夫なのか。

**総務課** 調理場については検討はなかったが、各備品倉庫には調理機材は配備している。

**教育振興課** センターは新耐震基準の建物であり倒壊の危険性はない。

**荒川** 熊本地震後8ヶ月経っても、益城町では給食センターが使えず、温かい給食が食べられない状態である。センターにおいては耐震化されていても中の大きな調理機材が倒壊したら使用できない。その点の再点検整備を要望しておきたい。



荒川 孝一 議員



いただきます

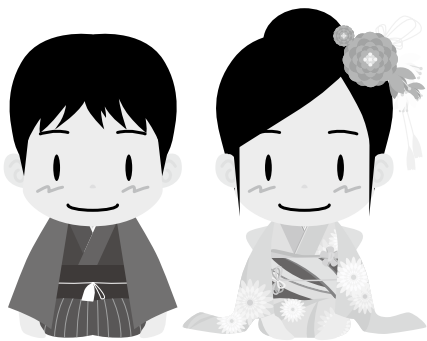
# を 迎 え て

## 市田 昇議員

議長に就任致しまして、二年、これから三年目に向かう年に入りました。

今後は、今まで以上に、町民の方々からの御意見を、色々な角度から拝聴し、適正かつ、厳格な議会運営を図り、町民の負託と信頼に応え、さらに、町民の議会に対する期待と関心度を高めるため、議員各位はもとより、執行部と共に町の振興と活性化に努めてまいります。

又、特に新規就農者への支援、働く場の確保、誘致企業との存続、子育て支援等、重要課題に取り組み、又、他市町村との連携も重視しながら特に鳥獣被害対策、雇用の確保等、これからは、町単独でなく近隣市町村全



## 金山 民幸議員

### 新年の抱負

#### 一 町民の声を活かす

##### 町づくり

議員就任以来、継続してきた年四回の議会定例会一般質問を続け、行政に対する皆様の意見要望を執行機関に届け、各施策の変更、提案の実現を図ること。

ら、にしき・まち・ひと・しごと総合戦略の各事業の推進を図ること。

#### 四 健全財政の堅持

各種の行政需要に対応するため、企業の誘致や行財政改革等により財源の確保を図ること。

#### 二 健康づくり及び

##### 介護予防の推進

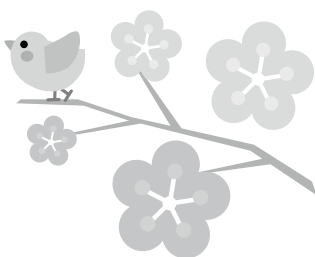
医療費及び介護費の抑制を図り、国保税と介護保険料の負担軽減のために、健康づくりや介護予防の推進を図ること。

#### 五 議会活性化の推進

皆様に信頼され存在感のある議会を築くために、議会基本条例に基づき議会活性化の推進を図ること。

#### 三 人口減少対策の推進

少子高齢化や人口減少は町振興に支障を来すことか



# 2017年

池田 秀晴議員

新年明けましておめでと  
うございます。皆様方にお  
かれましては、輝かしい新  
年をお迎えのこととお慶び  
申し上げます。町民の皆様  
には錦町議会に対しまして  
の温かいご理解とご協力を  
感謝申し上げます。さて、  
昨年は何といっても「熊本  
地震」であります。この地  
震でお亡くなりになられた  
方々のご冥福をお祈り致し  
ますとともに、被災されま  
した皆様方に心からお見舞  
い申し上げます。私は今年  
で議員2年目を迎えながら  
未だ勉強不足で先輩方や職  
員の皆さんの足手まといの  
状態です。でも、いつまで  
も甘えてばかりでは成長し  
ないので今年は自立するよ  
う精進したいと思います。

今、日本では超高齢化社会  
に突入しようとしています  
が、自助、共助の考えの  
もと健康寿命を伸ばし、医  
療費を抑えることによって  
町の財政が安定し、福祉  
の充実に繋がると考えま  
す。幸せはお金では買えま  
せん。今一度、健康である  
事を考え、健康診断を受け  
病気予防をし、健康診断受  
診率60%を、今後100%  
達成を目標に努め、老いて  
も安心して暮らせる町づく  
りに参加し、若人が夢と希  
望を持ち、本町に住み安い  
環境を築く事で少子高齢化  
に歯止めを掛けることを念  
願し、町民全体のご協力を  
願ってやみません。

藤川 喜一議員

## 年頭所感

2017年の幕が開い  
た。明けましておめでと  
うございます。気軽にその  
ひと言を口に出していいも  
のか、迷うような新年を迎  
えた。一年前には想像すら  
しなかった環境で年を越し  
たという方も多いことだろ  
う。熊本地震で「普通の平  
凡な生活」がいかに有り難  
く、かけがえのないもので  
あるかを思い知らされた一  
年であった。

今年には憲法施行から70年  
の節目の年でもある。「憲法」  
は余りにも当たり前で空気  
のような存在であるが、多  
くの犠牲を払った悲惨な先  
の戦争の反省の上に立ち制  
定された。反戦を誓う「平  
和主義」の憲法があつて今  
の日本の繁栄がある。戦後  
日本は70年間戦争で一人も  
殺さず、殺されずに来たの  
は「平和憲法」があつたか  
らである。今一度「憲法」  
の持つ「意義」や「価値」  
の再確認をする年にしたい。  
今年には酉年である。文字  
通り「飛躍」の年であり「羽  
ばたく」錦町であるよう念  
願する。

「論語」(孟子)の中に『和  
して同ぜず』という政治を  
志す者への戒めのことばが  
ある。年頭に当たり「信念」  
や「志」を自問して一年間  
頑張っていきたい。

# を 迎 え て

岡田 武志議員

## 平成29年を 迎えるに当り

昨年は、大雪があり、四月の熊本地震、長雨に異常高温といった年でした。町民の方々にも、地震で被災された方、身近に被災された方がおられる方に、心よりお見舞い申し上げます。復興には大変時間がかかり、今出来ること、これから出来ることを町民のみなさんと一緒に考え、実行できればと思います。

町民の声に耳を傾け、町議会議員の一人として頑張っていきたいと思えます。

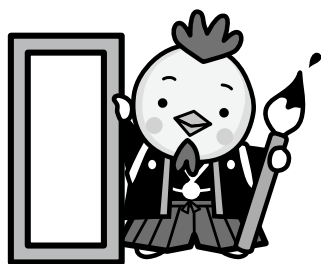
今の時代、何がおきるのか、全く予想のつかない時代です。テレビやラジオ、

インターネットで多くの情報が飛びかっています。

何が本当で何がうそなのかわからない時代と言っているでしょう。

町民憲章の中にある明るく住み良い町とはどんな町か、文化を育む美しい町とはどんな町なのか、みなさんと一緒に考えてまいります。

平成29年が良い年となりますようよろしくお願いいたします。



柳瀬 みどり議員

謹んで初春のお慶びを申し上げます。今年ほど穏やかなお正月を迎えることのでき喜びをしみじみと感じた年はありませんでした。昨年の大雪から始まり熊本地震等、自然への恐怖を身を持って体験し『あたりまえの生活』の大切さを痛感した年でもありました。店頭から物資が消え、一時不安を感じたのも束の間、ライオンラインの復旧の早さにも感銘を受けました。完全な復興までにはまだまだ時間がかかりますが、人々のつながりに感謝です。

私達が、この錦町を中途半端にならぬようきちんと残して未来へつないでいける環境を作っていかなければならないと年頭に強く思うところです。「安心・安全な町づくり」とは何かを考えながら、動いていこうと思えます。

本年も、どうぞよろしくお祈り致します。がんばろう熊本!!

錦町では、学習面、スポーツ面において子どもたちの素晴らしい頑張りが見られました。『錦町』の看板を背



# 2017年

## 右田 宣之議員

2017年酉年、元旦の朝は晴天で気分まで心地よい幕開けでした。

去年は、大雪、地震、長雨、高温というふうに厳しい自然現象に見舞われ散々な年でありましたので、元旦の晴天で今年一年を占うとすれば、一年の計は元日にありと言いますが平穏な年であつて下さいと願うほかありません。そうなれば、精神的にも安定し、身体ストレスも和らぐのではないのでしょうか。私は、今期議員活動の最重要点は、町民の皆さんの健康づくりを掲げております。そこで、町民全体の健康チェックを提案しておりますので、早期実現に向けて勸奨し、町

見、早期治療を促し更には重症化予防策に積極的に協力をしていく所存です。次に、町の基幹産業である農業に関し、近年最重要課題は、年々増える鳥獣被害であります。天候不順等により減収となった作物が、鳥獣類の被害まで受けるとなると生産者はダブルショックです。この件は、今後議会一丸となって対策を考案し、執行部に提言すべきと考えます。

## 守永 慶次郎議員

新年がスタートした。今年の干支は酉である。酉にちなんでの言葉に鳥の目で見ることがある。物事を成功に導くには3つの目(鳥の目、虫の目、魚の目)が必要だと言われる。その一つ、高い所から全体像を把握することのことだ。似たような言葉で「俯瞰、ふかん」がある。今、指導者の資質として重要なものは、物事全体を高い視点から広く見渡す力、俯瞰力である。さて、町の行政を推進していく上で、その指針となる錦町総合計画があり現在は5期目の後期に入っている。その上、昨年からは地方創生の一環で、国は人口減少に歯止めをかける為に「まち・ひと・しごと総合戦略」の策定を

市町村に義務づけた。本町に於いても総合計画を基本に早速策定されその実現に向け日々精進されていることだと思う。チェック機能である議会は、先ほどの鳥の目に続き、虫の目で低い位置、即ち現場から狭く深く見る。魚の目で、国の動向、住民ニーズの流れを読み取る。この3つの目を駆使し、先ほどの諸政策の実施計画が絵に描いた餅にならないようにチェックし、提言していくべきであろう。

この様な姿勢でこの一年、酉年を過ごすべきと年頭に考えた。

# を 迎 え て

久保田 文男 議員

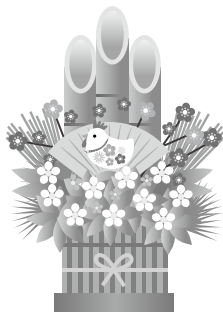
酉年を迎え今年を考えるに成人式に出席させてもと、わが地元に関係する戦らつているが、2年前から後70年と言う事で、各メ農業を仕事としている人がディアが取り上げた人吉海いかなかった。

軍航空隊基地、地下壕等、また農業者も高齢になつ自分達少年時代の遊び場のた人が多くなり、農地を預防空壕が戦争の歴史遺産とけたり、売りに出す人が多くなつていて、耕作放棄地して現存している。

錦町も「基地跡プロジェクトも増えているのが現況だとクトチーム」を立ち上げ思う。

5ヶ年計画で保存と活用を今後の対応としては錦町考えておられるので、地元は認定農家と協議をしながらの方と関係者の当時の話をら農地を守りながら後継者聞き取り、今後平和教育等を育てる事が必要と考えられる。の一環として歴史遺産として保存していかねければならない。

次に今後の錦町の農業について考えるとき、農業後継者が少なくなつていのが現況ではなからうか。現



荒川 孝一 議員

## 流汗悟道

「最近鋭さが無い。しぶとさが無くなった。」と私の一般質問に対する感想を親しい人、あるいは同僚議員から指摘されます。最たるものは、あいねつと議会放送を聞いていた家内からのもので「なんだか最近、喋り方が小慣れした感じで面白く無い」と。唯一、評価を上げていたのが、昨年他界した母で、議員になりたての頃、執行部に対してズケズケと言いつついたのを聞いてハラハラしていたそう、最近放送を聞いても安心して聞かれると言っていました。

「流汗悟道」2017年議員10年目、喋り方は色々変わったかもしれませんが、汗水流して現場の声を、錦町を東へ西へ春夏秋冬駆けずり廻り、届ける流儀は変えることなく頑張ります。

難しいですね。10年目38回、今まで一般質問をして

# 2017年

## 高田 孝徳議員

町民の皆様方、2017年新年の御挨拶を申し上げます。

このように新年の御挨拶を書くことは初めての事があります。私は、皆様方の御支援を賜り町議に初当選したときは39才でした。それからからあつという間に57才となつてしまいました。過去を振り返ってみますといろいろな事が思い出されま

### 五省

- 一、至誠に悖る勿かりしか  
真心に反する点はなかつたか
  - 一、言行に恥づる勿かりしか  
言行不一致な点はなかつたか
  - 一、氣力に缺くる勿りしか  
精神力は十分であつたか
  - 一、努力に憾み勿りしか  
十分に努力したか
  - 一、不精に亘る勿りしか  
最後まで十分に取り組んだか
- この五つの訓戒を心の目標として、この一年を過していく所存です。

## 土肥 俊一議員

平成29年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

町民の皆様方の御理解、御支援の中で、議会議員として20年間務めさせていただきま

しました。心から感謝し、お礼申し上げます。

振り返ってみますと、初めての一

般質問で学童保育の問題を取り上げ、その後錦町でも取り組みが始まりました。

農業問題では担い手事業の農家負担ゼロを目指して論戦をして参りました。負担金10%が6%から3%へとなり、農家負担が軽減されたことは大きかつたと思つて

います。公共工事の公平、公正な工事発注問題では、議員間

での連携を取りながら、町、当局に問題を提起しながら訴えてまいりました。色々な問題も残りましたが、公共工事の公平、公正は守れたと確信しているところです。

議会として初めて出した予算の修正議案は、最終的に全会一致で議決され、今日の農地水保全活動へと繋がっています。

私は、これからも錦町の議員であることに誇りを持ち、町民の皆様のために頑張つてまいります。

今後とも錦町議会への御理解御支援を心からお願い申し上げます。

# 議会のうごき

## 10月

1日	・錦こども園、サン保育園、木上ひかり保育園運動会	20日	・人吉農芸学院運動会
3日	・全員協議会	21日	・広報特別委員会
6日	・第5回臨時会	22日	・相良村誕生60年記念式典
11日	・例月出納検査（～12日）	22日	・球磨商百貨店（～23日）
13日	・熊本県町村議会議員研修会	25日	・球磨郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会
14日	・広報特別委員会	26日	・厚生文教経済常任委員視察研修（～27日）
16日	・定例郡議長会	29日	・ふるさと祭り（～30日）
18日	・福島保育園運動会	31日	・全国町村監査委員研修会（～2日）
18日	・平成29年度管内主軸事業上京要望（～19日）		

## 11月

4日	・全員協議会	17日	・定期監査（・21日）
7日	・総務建設常任委員視察研修	20日	・錦町文化祭
	・定例郡議長会	22日	・人吉下球磨消防組合議会定例会
9日	・第60回議長全国大会（～10日）	25日	・人吉球磨広域行政組合議会定例会
14日	・第13回熊本県町村議会広報コンクール表彰式・研修会	29日	・未来の学校創造プロジェクト事業公開授業研究会（木上小）
15日	・例月出納検査（～16日）		

## 12月

1日	・全員協議会	19日	・定例郡議長会・事務局合同会議
	・県庁織月会	20日	・例月出納検査（～21日）
6日	・議会運営委員会	22日	・人吉球磨広域行政組合議会定例会
13日	・平成28年第4回定例会（～16日）		
18日	・球磨一周駅伝大会		

## 議会へ一言



平生 庄八さん  
(錦町老人会会長)

昨年は4月14日・16日の熊本大地震に6月は集中豪雨、10月には阿蘇の爆発的噴火がありました。

暮れも押し詰まってから鳥インフルエンザまで年が改まってでも忘れられない2016年という年になってしまった。熊本大地震の早期復興を祈っています。議会傍聴をして思ったことは一般の傍聴者の方々が少なく残念です。私達が選んだ議員さんは町民が安心して暮らせるようにと志を持たれ、執行部と一緒に議会が活発に議論されておられます。その姿を見ることでこれからの錦町の行く末がわかると思います。

傍聴者が多いと議会も盛り上がります。議員さんにおかれましては、老いても安心して暮らせる、町民の皆様のご期待に添うよう、執行部と一丸となって議場を盛り上げて下さい。期待しています。

## 軌跡

地球温暖化が進んでいる。今年は特に元旦から日中は暖かく春を思わせる気候で、この便りが届く頃は、厳寒が或いは暖冬であるか予想がつかないところです。

昔から春にはサクラ、夏にはヒマワリ、秋にはキク、冬にはウメの花々が咲き乱れ季節感がありました。このような気候が続くならば、そう遠くない内に日本の風景を醸し出してきた四季も消えていくのではないのでしょうか。

さて、皆様に議会活動を理解して頂き共に町づくりを進めるために、これまで皆様と議会の架け橋として、又、議会活動の情報発信としての議会だよりの発行を行っております。少しでも読みやすいように活字を大きくしたり或いは議会トピックスコーナーを設けたりして工夫をしておりますが、如何でしょうか。ご意見ご要望を遠慮なくお聞かせ下さい。

(文責 金山 民幸)

### 【広報特別委員会】

委員長 金山 民幸  
副委員長 藤川 喜一

委員 荒川 孝一

柳瀬みどり

右田 宣之

議長 市田 昇